

【“クローズアップ現代”と“ジェイタプロの理論”との関係について】

1. クローズアップ現代

2026年1月7日（水）に放送された「クローズアップ現代（NHK総合）」のテーマは「最近、手書きしていますか」でした。この番組での内容の要点を以下に示します。

- * 近年の研究で「手書きは脳を活性化させるきっかけになる」という研究が相次いでいる
- * 手書きは読解に必要な脳のすべての神経回路を活性化する
- * 手書きは脳に様々な刺激を与える
- * 手で書くとき複数の感覚が働く
 - ・運動—指先や手の動き
 - ・触覚—紙の感覚、筆圧
 - ・時間間隔—リズム、間
 - ・聴覚—音韻、ペンの走る音
 - ・視覚—文字の形、配置
- * これらを脳で統合的に処理することがマルチモーダル
- * 統合が脳を活性化することで記憶を促す→思考力の向上につながる

2. デジタル化から手書きへ

「クローズアップ現代」ではスウェーデンの例を紹介していました。

- * デジタル先進国として世界をリードしてきたスウェーデンの教育現場で重視しているのは昔ながらの手書き
- * インターネット、タブレットなどのデジタル化から3年前大きな方針転換をする。
- * この背景には学力低下への懸念がある。デジタル化拡充で学力が低下する。
- * 手書きでノートをとったほうがより多くを学べるのは明らかである。

つまり、スウェーデンの教育現場ではデジタル化から手書きに戻っているということです。この傾向は、スウェーデンだけではなくアメリカや日本でも見られるようです。

3. ジェイタプロの理論

ジェイタプロの理論とは、“ノートに手で書くことで脳が活発に活動する”という内容です。この内容に対して、「科学的な根拠はありません。経験に基づく理論です」ということを書きました^{注1)}。

しかし、「クローズアップ現代」の内容から、ジェイタプロの理論には科学的な根拠があることがわかりました。「ノートに手で書くことで脳が活発に活動する=手書きは脳を活性化させるきっかけになる」ということです。

脳が活性化することで記憶力が増し思考力が向上するということです。つまり、「ノートを使って勉強する方法」にはこの勉強方法の効果があるということです。

ただし、注意が必要です。ノートを使って勉強する方法の効果を高めるためには、学んだことの丸写しではなく、「『学んだことを自分の言葉で書く』や『学んだことの幅を広げる』などノートを使って勉強するうえでの工夫が必要」ということを認識することです^{注2)}。これは、「クローズアップ現代」の内容ではありませんが経験上から強調できることです。

注 1) :「ノートに手で書き出すこと (JTAPCO の理論)」(ジェイタプログ : 2018 年 11 月 8 日)

注 2) :「技術士試験対策・ダウンロードコーナー」の中の「図解でわかる『ノートを使って勉強する』という受験勉強方法の目的」の資料を参照のこと

以 上